

米子から地球を

えこじす

ecologist

筒井のり子さん大いに語る!
米子の企業と
ボランティアの
ホットな 関係

発行日 1998年9月10日
発行人 米子地区環境問題を考える企業懇話会編集委員会

1998.Sep

6

vol.



麗の皆生海岸を彼らの手で
～皆生海岸に1000人が集結!～

もくじ

- 特集
筒井のり子さんに
インタビュー…2
- 皆生海岸清掃活動紹介…3
- 新会長紹介…3
- 新規加入企業紹介…4
- お知らせ…4
- 募集!
[メダカやホタルの住む自然を
考える調査学習会] ……4
- 参加企業一覧…4



筒井のり子さんにインタビュー

米子には爽やかな風がある(筒井)

6月14日(日)児童文化センターで企業懇話会主催の講演会を開催。『企業』と『ボランティア』という、これから環境問題を考えていく上で重要なふたつのキーワードを結びつけて語ってくださったのは、聖和大学教育学部助教授の筒井のり子さん。二十世紀梨が大好物とおっしゃる筒井さんにあらためてお話をうかがいました。

◆米子の印象をお聞かせください。

米子出身の学生は謙遜して「何もないところです」と言っていましたが、伺ってみると、海あり、山あり、そして大阪では出会えないような爽やかな風があり、大変豊かな街だと感じました。

米子の企業懇話会は大変ユニーク(筒井)

◆米子の企業懇話会についてどう感じられましたか

大変ユニークな存在だと思います。今、大阪府の非営利活動促進懇話会に委員として参加しているのですが、先日も、個々の企業の社会貢献活動は活発だが、業種の異なる企業が連携しての活動はあまり見あたらないという話題が出ました。その点、米子は進んでいきあらためて感じました。



米子市環境課 辻 佳枝さん

◆筒井さんにとって、ボランティアとは

人間を生き生きさせてくれるもの、というのが実感です。自分の中に、仕事（職場）や家庭とはまた少し違ったもう一つの世界を創ってくれるものだと思います。もちろん職場の人と一緒に取り組む活動もありますし、家族で参加するものもあります。でも、そこでの経験や出会いは確実に自分の世界を広げてくれるものです。別の言い方をすると、自分の世界が広がるような楽しさや驚きや時には憤りが感じられない活動は、「やらされている」か「関心がない」のであって、それはボランティア活動とは言えないでしょう。



美保土建(株) 安松直美さん

◆企業懇話会とボランティアとは、

どういう結びつきになりますでしょうか

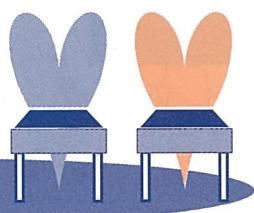
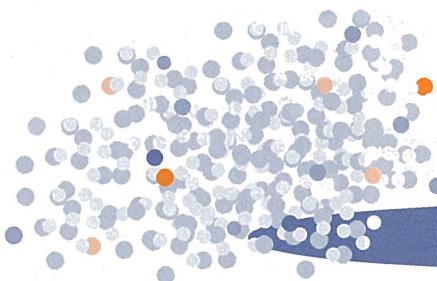
ボランティア活動は、あくまで個人の意志が基本です。上から「良いことだから」と言われても、自分が関心のないテーマだったり苦手なことであれば、生き生きと活動できません。ですから、各企業そして企業懇話会は、半ば動員のような形で社員に活動させるのではなく、あくまで希望者を募るという基本をこれからも大切にされることが重要だと思います。

◆多くの方に参加していただくのはなかなか難しい面もあると思うんですが…

そうですね。人間はきっかけや情報がないと、なかなか自発的に参加はできないものです。通常、個々の企業の取組みはなかなか外部の者にはわからないのですが、企業懇話会で情報交換をして、おもしろそうな企画はどんどん取り入れて社員に紹介することができると思います。さらに、一つの企業ではできないような企画を企業懇話会で実施することもできますね。とにかく、「ボランティアしてみようかな」と思うような、様々なプログラムや情報を提供することが求められていると思います。

◆今後の企業懇話会にどんなことを期待されますか。

これまでにも様々な取組みをしてこられていますが、より地域とつながるという点でいうと、環境や福祉に取り組んでいるNPO（民間非営利組織）と連携して協同企画が実現すれば、大変ユニークだと思います。

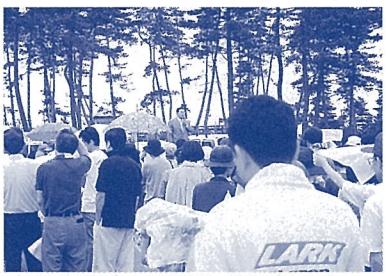


* インタビューを終えて…ボランティアは人間を生き生きさせてくれるものとおっしゃる筒井さん。やればやっただけ、自分も元気になり、米子も元気になるなら、ボランティアって素敵ですよね。まずは何かひとつ始めてみよっかな？それにしても爽やかな風のような筒井さん。またお会いしたいです。

環境美化皆生海岸清掃活動

みんなの力で、 こんなにキレイになつたよ!

平成10年6月28日（日）、海水浴シーズンを控えた皆生海岸で清掃活動を行いました。小雨の降るあいにくの天候にもかかわらず、懇話会のメンバー23社の社員や家族、一般市民含め約1,000名が参加。約1時間で計319袋のゴミを拾い集めました。



▲森田市長のご挨拶。「1,000人のパワーで、しっかり拾うぞ!!」



◀市民の皆さん、企業の皆さん、
一齊に清掃作業の始まりです。

各班に分かれての広範囲の清掃活動。各自が拾うものは少量でも、千人の力を合せ、一つのことに協力できたことに満足。

堀田石油(株)
森 俊之



▲ゴミの種類って、沢山なんだね…



▲皆生海岸もキレイになったよ。
早く海水浴に行きたいな。



『普通のこと、良いこと、悪いこと 区別のつく人間でいたい!』

美保土建(株) 安松直美

ゴミを持ち帰るということ。ゴミを所定の場所に捨てるということ。簡単な行動なのにどうしてできないのかな。普段、難しいことばかり毎日しているから、普通のことを学ぶゆとりがないのでしょうか…『おかしいぞ!』と感じる心をどこかに置き忘れたのでしょうか…自分を振り返り反省しつつ、良いことを普通のこととして感じ、行動できる自分になりたいと思いました。そして簡単なことをやり続けることの大切さを実感しました。

企業懇話会新会長に 山崎 英夫氏 就任!!

~地域に密着した活動を行い、
地域の意識を高めます~

環境問題は、最近では、地球的規模で重要視されており、二酸化炭素等の国家レベルでの取組や、ゴミ、家庭排水等の住民レベルでの取組等、その範囲は非常に幅広くなってきております。「こういった背景を考え、本当に地域環境を良くしようと考えた時、」企業懇話会の役割としては、会員だけの活動に閉じこもらず、地域に密着した幅広い活動を行い、会員はもとより、地域の意識も高めるような展開に結び付けていきたいと考えます。



王子製紙株式会社 山崎 英夫氏

企業紹介

尾崎商事株式会社

日本初のペットボトルリサイクル素材
～ウンセツネイティブを発表～

本社は岡山県倉敷市、創業以来145周年を迎える超伝統、信用、安定を誇る老舗。カンコー学生服をはじめとするスクールウエアの製造、販売は業界日本一の座を占めています。米子市には昭和39年に進出、現在米子工場420名、山陰営業所15名にて操業。北海道～沖縄間に50拠点（営業所、工場）を擁し、総勢3200名の社員でエコスクールと称し、製品づくりを通じてエコ活動を展開中。

山陰酸素工業株式会社

～ガスのことなら、まかせてください！！～

1946年（昭和21年）に創立。

当初は溶接・切断用の酸素ガスがほとんどであったが、現在は半導体、製鋼、医療などさまざまな分野に各種ガスを大量に供給しています。また家庭用・業務用のLPGガスは、山陰両県にくまなく供給しています。

昨年より、各家庭に対しては、24時間監視体制で安全供給に努めるとともに、バルク供給方式（ボンベの代わりに小型タンク設置）による合理配送を推進しております。

ほたる観察会

今年から、企業懇話会は『メダカやホタルの住む自然を考える調査学習会』を設置。その第1段として…去る6月11日…大東町（島根県）に出掛け「ホタル観察会」を実施しました。

“あたりが次第に暗くなると、初めは両岸の葉末で明滅していたほたるが、ほたるがほたるを呼ぶのか川沿いにたくさん乱舞して、ゆっくりと農道を歩く私たちの手のひらに止まってくれました。当日は、たくさんのファミリーが訪れており、小さな子供たちの歓声がこだましていました。

来年も是非訪れたい。百聞は一見に……。”

あなたもこの学習会に参加して、メダカやホタル、そして自然のことなど一緒に考えてみませんか！

お申し込みは、直接懇話会事務局か各企業の懇話会担当者まで。



今後の予定

9月20日(日) 米子水鳥公園清掃美化ボランティア活動

9月30日(水)～
10月1日(木) グラウンドワーク先進地視察…滋賀県甲良町、大阪府貝塚市

10月16日(金)
17日(土) 滋賀県甲良町から視察団が訪問予定

11月16日(月) 「高知めだかトラスト講演会」中村滝男氏（高知県生態系保護協会会長）

時間：午後5時30分～ 場所：ホテルわこう

○ 王子製紙（株）米子工場

○ 山陰酸素工業（株）

○ （株）鳥取銀行西部本部

● 日本たばこ産業（株）米子工場

○ 西日本旅客鉄道（株）米子支社

○ （協）丸合

○ （株）米子しんまち天満屋

○ （株）米子富士通

○ 尾崎商事（株）米子工場

○ 山陰信販（株）

○ 永瀬石油（株）

● 日本通運（株）米子支店

○ （株）原徳チェーン

● 美保土建（株）

○ 米子信用金庫

○ 米子ガス（株）

○ （株）山陰合同銀行米子支店

● 中国電力（株）米子営業所

● ナショナルマイクロモータ（株）

● 日本電信電話（株）米子支店

● 堀田石油（株）

○ （協）やよいデパート

○ （株）米子高島屋

※ 企業名はアイウエオ順
●は平成10年度幹事会社

編集後記

